

「日本気候リーダーズ・パートナーシップ」への 加盟について

ソフトバンクグループ株式会社の子会社で、自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（エスビー エナジー、本社：東京都港区、代表取締役社長：三輪 茂基、以下「SB エナジー」）は、本日、持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループ「日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）」に賛助会員として加盟しました。

SB エナジーは 2011 年の東日本大震災をきっかけに、ソフトバンクグループ株式会社が安心・安全かつ持続的に供給可能な自然エネルギーの普及促進を目的として設立した 100%子会社で、日本における自然エネルギーのリーディングカンパニーです。創業以来、日本国内 50 カ所で合計出力規模 773.0MW、一般家庭約 33 万 4,688 世帯相当の年間電力消費量に相当^{*}する発電を行う自然エネルギー発電所を建設、運転するほか、モンゴル・ゴビ砂漠で 50MW の風力発電所を運転するなど、グローバルに自然エネルギー発電を行う事業を「Watts」事業とし、自然エネルギーの普及拡大に取り組んでいます。「Watts」事業が持つ自然エネルギー由来電力の発電能力と、発電施設の開発運営を通じて培ってきた技術とノウハウを強みに、バーチャルパワープラント（VPP）事業をはじめとした AI・IoT と自然エネルギーの組み合わせによるエネルギープラットフォーム構築を行う「Bits」事業や、電気自動車（EV）のバッテリーや定置用電力貯蔵システム（ESS）などの蓄電システムと自然エネルギーの組み合わせによる新たなビジネスモデルの構築を行う「Mobility」事業へ事業領域を拡大し、「Watts」「Bits」「Mobility」の 3 領域をコアビジネスとして自然エネルギーの普及拡大を推進しています。

^{*} 2021年6月28日時点

SB エナジーは「Watts」「Bits」「Mobility」の融合により、二酸化炭素排出量削減に向けた取り組みを推進し、持続可能な脱炭素社会への移行を先導する JCLP および加盟各社とともに 2050 年のカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

■日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）について

脱炭素社会の実現には産業界が健全な危機感を持ち、積極的な行動を開始すべきであるという認識の下、2009 年に日本独自の企業グループとして設立。幅広い業界から日本を代表する企業を含む 182 社が加盟（2021年6月現在）。加盟企業の売上合計は約 138 兆円、総電力消費量は約 57.2TWh（海外を含む参考地・概算値）脱炭素社会の実現に向け、横浜市との包括連携協定の締結や、国際非営利組織 The Climate Group のローカルパートナーとして RE100、EV100、EP100 の普及窓口を務めるなど、自治体や海外機関との連携も進める。URL: <http://www.japan-clp.jp/>

● SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。